

令和6（2024）年度

学びによる地域づくり実践セミナー ④ 実施報告

実施日：令和6（2024）年12月14日（土）

学びによる地域づくり実践セミナーは、学びを生かした講座運営の演習を通して地域活動に必要な力を身に付けることを目的とした研修です。最終回では、総合教育センターの開放事業「学びの杜の冬休み」での実践演習が行われました。

演習「子どもたちのための講座を実践しよう！～学びの杜の冬休みの講座の実践～」

総合教育センター職員

「学びの杜の冬休み」にて、いままで計画してきた講座の実践演習が行われました。まず、事前の注意事項や日程を確認した後、グループごとに開場に向けて準備をしました。

開場後は、来場した子どもたちに楽しんでもらうため、各グループが積極的に声をかけながら、活動に取り組みました。時には計画通りに進まないこともありましたが、受講者たちは協力して臨機応変に対応していました。実際の講座運営を通して、来場した子どもたちが楽しそうに参加している姿に喜びを感じつつ、多くの気付きを得ることができたようです。



振り返り「これからの地域活動に向けて」

総合教育センター職員

グループごとにそれぞれの活動について振り返りを行いました。活動の目的や計画、準備から実際の講座運営までを通して気付いたことを書き出し、グループ内で共有した後、全体でも共有しました。

その後、受講者自身が今後の地域活動に向けて、この研修で学んだことをどのように生かしていきたいかを書き出しました。受講者にとって、これまでの活動を振り返ることで、今後の活動につなげるための機会となりました。



閉講式

閉講式では受講者に修了証が授与され、その後、生涯学習部長より挨拶がありました。研修を終えた受講者の顔には達成感が見られました。

閉講式終了後にはグループごとに解散式が行われました。互いの活動をたたえ合い、自然と拍手が起こった様子から、それぞれのグループが立派な「チーム」として活動できていたことがうかがえました。



<受講者の感想から>

- イベントを行う際に、その対象への理解を深めることと、自前に通してイメージすることの重要性を感じた。それらによって、必要となる準備物も違いが出てくることを痛感した。
- 子どもたちを楽しませるにはまず自分たちが楽しそうにすることが大切だと学んだ。
- 他者の意見を尊重し合うことで、チーム内での肯定感が高まり、より積極的な発言や行動を引き出すことができた。
- 子どもたちが楽しそうに活動してくれたことがとてもうれしかった。なかなか難しく、考える必要がある場面に遭遇することもあったが、臨機応変に対処することが思っていた以上にできたと思う。
- 子どもたちが熱心につくってくれてとてもうれしかった。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp